

「地方創生」の取り組みについて

北田 宏彦 議員



問 地方が自ら考え、責任を持って取り組む事が強く求められている。

① 本市の長期ビジョン、総合戦略策定の進捗状況を伺いたい。

② 地域消費喚起・生活支援型、地方創生先行型の施策を伺いたい。

答 ①人口ビジョン及び総合戦略の策定を進めている。②プレミアム付き商品券の規模を拡大し実施を検討している。他に子育て支援の助成など。また、観光プロモーションによる観光振興対策を検討している。

問 「地方創生」は地域社会の課題であるから、産・官・学・金・労で大網白里市地方創生懇談会を組織する事を提案する。

問 「男女共同参画計画」について

① 本市の計画策定の進捗状況は？

② 意識の定着、啓発はしているか？

③ 審議会などの女性委員の割合は？

答 ①男女共同参画審議会を設置し27年度に策定する。②講演会等の実施により、意

識の定着、醸成に努めたい。③女性委員は23・3%、更に登用に努めたい。

問 女性管理職の登用について

① 本市および県内自治体の女性管理職の割合は？

② 人材育成、能力開発などを行っているか？

③ 国は2020年までに女性管理職30%を目指して取り組んでいる、本市も目標値を掲げ取り組んではどうか？

答 ①市の女性管理職員は14・8%、東金市は28%、山武市は22・7%②職員管理職への意欲や能力の醸成、意識改革に取り組んでいる。③班長職への登用を推進し、組織の中核として活躍する環境整備を図っていく。

問 市民の体育・スポーツ振興

「スポーツ推進計画」策定と今後の取り組みについて伺いたい。

答 27年度に策定する予定で、運動、スポー

ツを通して体力の向上と心と体の健康の保持、増進を図りたい。

問 「全国体力・運動能力・運動習慣調査結果」について

本市の小・中学生の状況はどうか？

答 本市は、概ね全国や千葉県の数値を上回っている。

問 概ね上回っているが、握力とソフトボール投げまた、持久走が低い。改善に向けた取り組みは？

答 日常の体力向上に取り組む。

問 全国学力・学習状況調査結果について

① 全国、県平均との比較を伺いたい。

② 調査結果の検証、改善を行い、学習指導に活かしているか？

答 ①算数及び数学に課題がある。②分析し、改善策を校長会で示した。

問 他自治体を参考に調査結果を公表し、教育効果を高めてはどうか？

答 公表自治体を参考に検討したい。

問 地方教育行政に関する法律の改正に伴う教育振興大綱の策定の進捗について伺いたい。

答 総合計画の後期基本計画策定と整合した教育振興大綱を策定する。

住みたい 住み続けたい まちづくりを目指して

山田 繁子 議員



問 出前講座を活用した、住民サービスの向上を目指して

利用者の声を生かしたメニュー作りについて。平成24年度から実施している出前講座は、今年度も昨年度を上回るメニュー講座、参加人数も700名をこえ、住民サービスの向上に大きな成果を挙げられたものと思えます。新年度に向け、受講者団体等のアンケート調査をするなどして、市民から要望を生かした新メニューの追加はいいかがか？

答 ご提案して頂いたアンケート等による利用者の意見、要望等を把握し、それらの意見を反映した魅力ある講座となるよう関係課等とともに協議し調整してまいります。人口減少対策について、市をあげての婚活支援対策の取り組み、新たな出会いづくりの創出に「夏祭り」等の市のイベントを活用されたいかがか？

問 高齢者や障害者など自力で避難できない方、困難な方の対策は。

答 大規模災害発生直後は多数の被災現場が発生することから、消防などの公的機関のみでは対応が困難です。市としては平常時から高齢者や障害者など、自力で避難できない方々の情報を区、自治会、自主防災組織と共有するよう準備を進めているところであります。

問 市は共助や自助の方だけ。公助、自治体等が責任を果たす、そういう部分がかかり欠落している。公助の部分をかき強くするかとということが、強く求められると思う。

答 建築基準法における新耐震基準に適合していない建築物は、地震に対する安全性が明らかでないといわれています。一

問 波乗り道路のかさ上げ工事は、いつ、どういう形でやるのですか？

答 かさ上げ工事につきましては、千葉県に確認したところ、平成28年度から行いたいということになっております。

問 避難タワーについてですけれども、南今泉の現在、公園になっているところ避難タワーができると思っていた市民の感情は、どうなるんですか？

答 平成25年1月、平成26年1月に開催された地元地区の役員会で理解が得られたので、平成26年度予算に事業費を計上いたしました。しかしながら、平成26年3月の地元地区の役員会及び平成26年4月の白里・福岡地区の区長会において説明したところ、多様な意見が出されたことから、改めて津波避難施設整備計画を作成しているところであります。

問 北今泉の避難道路について伺います。

答 北今泉の等覚寺から県道一宮片貝線、通称準道を越えた狭路部分につきましては、警察等の関係機関との協議が完了し、道路計画がまとまりましたことから、関係地権者に用地のご協力をお願いしているところでございます。

問 市民参加型の予算編成の方法はないのですか？

答 予算編成方針というものを予算編成前に作成いたします。そういったものをご説明させていただくと、入れることは可能かと思えます。合わせて、その機会に市民の方と意見交換をさせていただき、そういった機会をもつというところは可能ではないかというふうに考えております。

問 大網白里市に移り住みませんか、観光にお見えになりませんか。あるいは、企業に、本市で経営してみませんか、そういった活動はされているのですか？

答 今回、平成26年度国の補正予算において、本市に対しても地方創生に関する費用として4,300万9,000円、交付が決まっているところであります。この予算を活用して、市の魅力を積極的にPRしていくような方法を考えていきたいというふうに考えております。

問 そういった構想では、大体どのくらいのスパンでお考えなんですか、将来的に。

答 まち、ひと、しごと創生総合戦略につきましても、国の方針により平成27年度から5カ年で計画をつくるようにという通知が来ております。

また、今本市が進めておりますスマーティンターチェンジ周辺の整備であるとか、駅南口の整備につきましても、もつと長いスパンで考えていくべきものだと考えておりますので、10年20年先を見据えた上で、本市の適正な土地利用というものがどういふものなのかということ、来年度総合計画で検討していきます。

防災は市がイニシアチブを発揮することが強く求められている

佐久間 久良 議員



概に地震等により崩壊するとは言えないが、災害に強い街づくりを推進するため、昭和56年5月31日以前の木造住宅に

ついて、耐震診断や耐震改修を行う場合、費用の一部を補助しています。

答 地震により、大規模災害発生時は家屋やブロック塀などの倒壊により、道路がふさがれ避難に支障をきたす恐れがあります。市内全ての危険箇所を把握はしております。区、自治会、自主防災組織などで、状況を把握し災害時に、より安全により速やかに避難できるように経路について、話し合っていたいただくことが重要であると考えております。

問 先ほども言いましたが、市の責任が曖昧になっている。自治体が責任を持つ、イニシアチブをいかに発揮するかということが求められている。これでは、地元が区や自治会のほうに丸投げしているように思える。

答 津波避難タワーの建設には、静岡県の吉田町では100年に一度の大津波を想定して、道路の上に津波避難タワーを建設している。ぜひともやっていただきたい。

問 津波避難タワーの建設は、山武市、九十九里町、長生村などではもうでき上がっている。さらに、九十九里町では、千葉県などが進めている津波対策の説明会が行われている。本市では、全くといって何も進んでいないと言わざるを得ない。

津波避難タワーの建設には、静岡県の吉田町では100年に一度の大津波を想定して、道路の上に津波避難タワーを建設している。ぜひともやっていただきたい。

問 今回、平成26年度国の補正予算において、本市に対しても地方創生に関する費用として4,300万9,000円、交付が決まっているところであります。この予算を活用して、市の魅力を積極的にPRしていくような方法を考えていきたいというふうに考えております。

問 そういった構想では、大体どのくらいのスパンでお考えなんですか、将来的に。

答 まち、ひと、しごと創生総合戦略につきましても、国の方針により平成27年度から5カ年で計画をつくるようにという通知が来ております。

また、今本市が進めておりますスマーティンターチェンジ周辺の整備であるとか、駅南口の整備につきましても、もつと長いスパンで考えていくべきものだと考えておりますので、10年20年先を見据えた上で、本市の適正な土地利用というものがどういふものなのかということ、来年度総合計画で検討していきます。

市政に対する一般質問

宮間 文夫 議員



問 波乗り道路のかさ上げ工事は、いつ、どういう形でやるのですか？

答 かさ上げ工事につきましては、千葉県に確認したところ、平成28年度から行いたいということになっております。

問 避難タワーについてですけれども、南今泉の現在、公園になっているところ避難タワーができると思っていた市民の感情は、どうなるんですか？

答 平成25年1月、平成26年1月に開催された地元地区の役員会で理解が得られたので、平成26年度予算に事業費を計上いたしました。しかしながら、平成26年3月の地元地区の役員会及び平成26年4月の白里・福岡地区の区長会において説明したところ、多様な意見が出されたことから、改めて津波避難施設整備計画を作成しているところであります。

問 北今泉の避難道路について伺います。

答 北今泉の等覚寺から県道一宮片貝線、通称準道を越えた狭路部分につきましては、警察等の関係機関との協議が完了し、道路計画がまとまりましたことから、関係地権者に用地のご協力をお願いしているところでございます。

問 市民参加型の予算編成の方法はないのですか？

答 予算編成方針というものを予算編成前に作成いたします。そういったものをご説明させていただくと、入れることは可能かと思えます。合わせて、その機会に市民の方と意見交換をさせていただき、そういった機会をもつというところは可能ではないかというふうに考えております。

問 大網白里市に移り住みませんか、観光にお見えになりませんか。あるいは、企業に、本市で経営してみませんか、そういった活動はされているのですか？

答 今回、平成26年度国の補正予算において、本市に対しても地方創生に関する費用として4,300万9,000円、交付が決まっているところであります。この予算を活用して、市の魅力を積極的にPRしていくような方法を考えていきたいというふうに考えております。